

# 宝が池公園運動施設 ■ ■ ■ TAKARAGAIKE PARK SPORTS FACILITIES

左京区松ヶ崎西池ノ内町

## ■沿革

宝が池は、かんがい用のため池として江戸時代中期に造られたもので、最初はわき水をせき止めただけの小さなものでしたが、次第に堤を高め、江戸時代後期にほぼ現在の大きさになったとされています。

松ヶ崎付近は古くから景勝の地として知られていましたが、この地を公園化する計画が具体化するのには、昭和17年に防空緑地として都市計画決定されたことに始まります。この計画では宝が池直南付近6.61haが防空緑地に指定され、同時に区域全体が買収されました。

戦後、防空緑地部分を基に、宝が池を中心とした132haに及ぶ大公園として計画変更され、その後数回の計画変更を経て、現在、計画決定面積は128.0haとなっています。

昭和36年に、国立京都国際会館が北側隣接地に建設されることが決定してから、市民の憩いの場としての施設整備が大幅に進み、運動施設中心ゾーンとして「スポーツ広場」の整備を行い、昭和62年に球技場、昭和63年にテニスコート4面、平成2年にはテニスコート1面が増設されました。



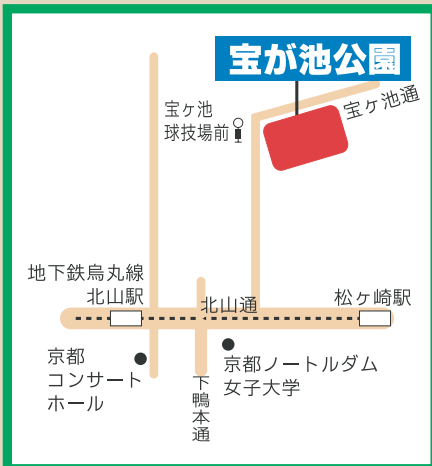
球技場  
Ball game field



少年スポーツ広場  
Open ground of juvenile sports



テニスコート  
Tennis court



	■ 開設年月	■ 競技種目	■ 面積	■ 付属設備	■ 収容人員	■ 駐車場
<b>球技場</b>	昭和62年5月	サッカー ラグビーフットボール アメリカンフットボール ホッケー	敷地:16,147㎡、建物:1,812㎡ 芝フィールド:148m×83m	会議室、シャワー、審判控室、 放送室、ロッカー	観客席:6,000席 (メインスタンド:2,200席) (芝スタンド:3,800人)	有り
<b>テニスコート</b>	昭和63年8月 改修 平成9年3月	テニス:5面 (サンドフィルコート・ナイター設備有り)	敷地:8,574㎡ コート:4,154㎡	クラブハウス 会議室、シャワー、ロッカー	—	—
<b>少年スポーツ広場</b>	昭和63年8月	少年野球:4面 少年サッカー:2面	敷地:13,630㎡ 広場:7,370㎡	—	—	—